

番 号	10314																																										
効用の種類	ふれあいによる生理・心理的効用																																										
タイトル	回復期リハビリテーション病棟における園芸療法の一症例																																										
概 容	回復期リハビリテーション病棟の入院患者(70代女性:1名)に対し、リハビリテーションの作業療法の一環として、園芸療法を実施した。その結果、日常生活動作(ADL)を評価するBI値が3カ月で54点から85点と回復し、園芸の話題等をきっかけに同室患者とのコミュニケーションや交流が増え、やりがい、意欲向上につながり、生活の質(QOL)の改善が見られた。																																										
内 容	<p>(目的) 回復期リハビリテーション病棟の入院患者に対し、作業療法の一環として、得にQOLの向上を目的に園芸療法を実施した。その症例を報告する。</p> <p>(調査概要) 対象は70代の女性とし、園芸療法を週2回、1回約30分実施した。評価方法は日常生活動作(以下ADL)はバーサル・インデックス(以下BI)、認知機能は長谷川式簡易知能評価スケール(以下HDS-R)、抑うつ度は自己評価抑うつ性尺度(以下SDS)、QOLは自己記入式QOL質問表改定版(以下QUIK-R)を用い、また障害老人の日常生活自立度及び認知症老人の日常生活自立度による評価も行った。</p> <p>(結果および考察) ADLは、54点から85点と入院3か月まで順調に回復した。QUIK-Rについては、4月、5月は「きわめて不良」、6月は「不良」であったが、9月には著しく改善され「普通」レベルとなった。認知症老人の日常生活自立度は、4月のB1から5月にA2となった。また、園芸の話題等をきっかけに同室のH氏と親しくなり、コミュニケーションや交流が増えたことで園芸がやりがいとなり、意欲の向上につながりQOLの改善になったと考えられる。</p> <p>表-1 各スケール値の変化</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>検査日</th> <th>BI 100点</th> <th>HDS-R 30点</th> <th>SDS 80点</th> <th>障害老人の日常生活自立度</th> <th>認知症老人の日常生活自立度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月21日</td> <td>54</td> <td>5</td> <td>44</td> <td>B1</td> <td>IIa</td> </tr> <tr> <td>5月10日</td> <td>75</td> <td>7</td> <td>35</td> <td>A2</td> <td>IIa</td> </tr> <tr> <td>6月17日</td> <td>85</td> <td>8</td> <td>42</td> <td>A2</td> <td>IIa</td> </tr> <tr> <td>7月13日</td> <td>85</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>A2</td> <td>IIa</td> </tr> <tr> <td>8月15日</td> <td>85</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>A2</td> <td>IIa</td> </tr> <tr> <td>9月14日</td> <td>85</td> <td>8</td> <td>36</td> <td>A2</td> <td>IIa</td> </tr> </tbody> </table>	検査日	BI 100点	HDS-R 30点	SDS 80点	障害老人の日常生活自立度	認知症老人の日常生活自立度	4月21日	54	5	44	B1	IIa	5月10日	75	7	35	A2	IIa	6月17日	85	8	42	A2	IIa	7月13日	85	—	—	A2	IIa	8月15日	85	—	—	A2	IIa	9月14日	85	8	36	A2	IIa
検査日	BI 100点	HDS-R 30点	SDS 80点	障害老人の日常生活自立度	認知症老人の日常生活自立度																																						
4月21日	54	5	44	B1	IIa																																						
5月10日	75	7	35	A2	IIa																																						
6月17日	85	8	42	A2	IIa																																						
7月13日	85	—	—	A2	IIa																																						
8月15日	85	—	—	A2	IIa																																						
9月14日	85	8	36	A2	IIa																																						

表-2 QUIK-R 値の変化

検査日	点数 50点	チェック項目 5点	項目ごとの点数				評価
			身体機能 20点	情緒適応 10点	対人関係 10点	生活目標 10点	
4月21日	30	2	14	6	3	5	きわめて不良
5月10日	34	1	12	7	7	8	きわめて不良
6月17日	23	2	8	4	3	8	不良
9月14日	9	5	5	1	0	3	普通

出典

人間・植物関係学会雑誌 第8巻 別冊：19-20 .2008年 中西保太郎、水田千晶、公文 康

備考